

南部地域の棚田米が高評価



棚田米コンテストで圧勝

11月30日本町の「ホントカ。」にて小千谷市の山間部の田んぼで作られたお米の頂点を競う「第2回おぢや棚田米コンテスト」が開催された。

このコンテストは総エントリ67品から最終選考に出場した10品が特別審査員6名と来場した一般審査員により試食され、それぞれ味や外見、食感を審査して投票するものである。審査の結果最高賞である市長賞には若松の樋口智明さんが見事選ばれた。なお最終審査に出場した米のうち南部地区は9個人と1団体となり圧倒的な強さを見せた。

審査に先だつて行われた基調講演では、小千谷市のふるさと納税推進の

ミックス

MIKS

第8号 令和7年12月25日(全戸配布)

発行 南部地域町内会長連絡協議会

編集 地域づくり支援員 石曾根徹

会長 瀧澤功

岩沢住民センター 86-20002

	氏名	集落協定	品種
市長賞	樋口 智明	若松	コシヒカリBL
会長賞	古田島 博道	岩山	コシヒカリBL
会長賞	うちがまき 絆	川井本田	コシヒカリBL
会長賞	近藤 勝生	戸屋	コシヒカリBL
ホントカ.賞	関 信一郎	川井本田	コシヒカリBL
ホントカ.賞	近藤 秋彦	川井本田	コシヒカリBL
ホントカ.賞	近藤 義昭	川井本田	コシヒカリBL
ホントカ.賞	近藤 勝生	戸屋	コシヒカリBL
ホントカ.賞	関 元康	塩殿	コシヒカリBL
ホントカ.賞	横田 雅夫	谷内池	新之助
ホントカ.賞	保科 学	若松	コシヒカリBL

委託を受けた三ツ目株式会社の代表取締役 正史氏が「ふるさと納税がひらく!小千谷産米の可能性」として、小千谷産の米にはまだ伸びしろがあると締めくくった。

福祉に対する表彰&感謝状贈呈

南部地区の個人・団体が受賞

11月6日第75回新潟県福祉大会が、魚沼市響きの森文化会館を会場に、式典と記念講演が開催された。

式典では新潟県共同募金会会長表彰の部において、共同募金運動奉仕功労者として、川井地区の今井隆夫氏と真人地区の瀧澤功氏が長年にわたり募金ボランティアとして活動された功績が認められ受賞された。

また11月7日にはサンラック

おぢやにて第8回小千谷市社会福祉大会が開催され、長年にわたり地域福祉の向上に尽力された個人、団体に久保田千昭小千谷市社会福祉協議会会長より表彰状および感謝状が送られた。

受賞した南部地区関係者は福祉活動個人として真人里地福祉会会長の瀧澤功氏、社会福祉法人ほのぼの小千谷福祉会理事長の平沢功氏、小千谷市精神障害者家族会会長の細金欣一氏、ボランティア団体として岩沢地区配食ボランティアの皆さん。

岩沢地区配食サービスボランティアの久保田会長が、岩沢の地域振興支援職員として赴任していた時に立ち上げた事業である。

南小SC Tシャツリニューアル協賛のお願い（ご案内）

令和7年12月吉日
南小SC保護者会長 近藤 雅則

日頃より、南っ子の活躍に温かいご声援を賜り、深く御礼申し上げます。

南小学校は統合以来13年目を迎え、小千谷市南部の子供たちの健全な心身の育成の拠点として定着しております。小学校統合以来活動している南小SCも全校児童の約3割が所属する大所帯で、元気いっぱいに活動しております。

この度、南小SCでは、クラブ創設以来着用していたTシャツのリニューアルを計画いたしました。このリニューアルは、子どもたちのモチベーション向上だけでなく、いつも南っ子の活躍に温かいご声援をいただく南部地域の皆様へ地域貢献という意義も目指しております。

具体的には、南部企業や団体の皆様からのご協賛を頂く対価として、Tシャツへのロゴ掲載を行います。この新しいTシャツは、市内の陸上大会はもちろん、近隣市外で実施される大会参加時も着用するものです。これによりご協賛頂く企業や団体様の存在を、広く知っていただく機会にもなると考えております。

この度、実行計画が固まりましたので、正式にご案内申し上げます。
多くの皆様からのご協賛をお待ちしております。

企業・団体様からのご協賛額：1団体 3,000円
申込期間：2026年1月末まで
申込方法：下記電話番号またはE-Mailアドレス宛にご連絡ください
※Tシャツに掲載するロゴをご提供いただきますのでご準備ください

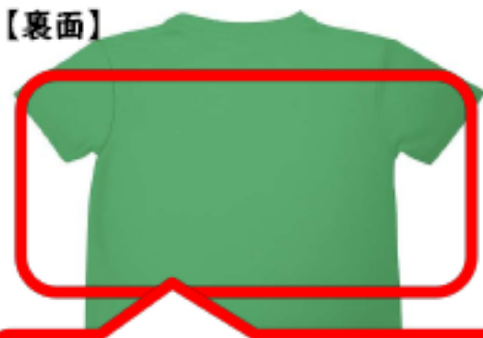
なお、今年度より施行の中学校部活動地域展開を見据え、小学生はもとより中学生や地域のどなたでも参加できる活動にしていく考えの基、団体名の変更も検討しておりますのでご承知おきください。

【表面】



デザインは変更する予定です

【裏面】



ここに企業・団体様のロゴを入れます

南小SC保護者会長 近藤 雅則
電話番号：090-4863-6722 E-Mail：roadstar1200sportsstar2@gmail.com

お知らせ

真人ふれあい交流館と岩沢、川井の各住民センターは12月27日～1月4日まで定期休館と合わせて年末年始の休館となります。ご利用の皆さまにはご不便をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。



真人ふれあい交流館と岩沢、川井の各住民センターは12月27日～1月4日まで定期休館と合わせて年末年始の休館となります。ご利用の皆さまにはご不便をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

真人ふれあい交流館と岩沢、川井の各住民センターは12月27日～1月4日まで定期休館と合わせて年末年始の休館となります。ご利用の皆さまにはご不便をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

地域の協力を求める

今シーズンの積雪はいかに

雪業者、行政が協力し合って冬季間の交通確保を行ってきたい」と挨拶。この後除雪業者による担当地区の紹介や行政からの令和7年度の道路除雪計画が説明された。配られたチラシには「除雪車に近寄らない。道路に雪を捨てない。路上に駐車しない。出入口は各戸で除雪を」など住民にも道路除雪作業への協力を求めている。



小千谷市消防団・消防本部からのお知らせ

日頃より消防行政へのご理解とご協力、誠にありがとうございます。消防団、消防本部では令和8年4月1日から施行される「第五次小千谷市消防団整備計画」に基づき「機能別消防団員」制度を導入する予定です。これは消防団員の減少や日中に地元で待機できる団員の不足という現在の社会情勢に対応し、災害対応力を強化するための重要な取り組みです。地域の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

- 機能別消防団員とは？
現在運用している「特別消防団員」制度と同様に特定の時間、任務に活動を限定した消防団員をいいます。名称は国の示すものに合わせました。（報酬等は見直しを行います。）
- 任務と任用条件
任 務： 平日の午前7時から午後7時の間に発生した災害への対応（日中の災害対応に特化）
条 件： 過去に10年以上消防団に在籍していた方で消防団長が承認した方
地元の災害に早急に駆けつけることが出来る方
年額報酬：12,000円
活動報酬：基本消防団員と同じ額を支給
災害補償：基本消防団員と同じ額を支給
退職報償金（5年以上在職の際支給される退職金）：支給しない
- 今後の展開
災害現場の情報収集を目的としたドローンを使用した活動を任務とする機能別消防団員の導入も検討を進めています。
- お問い合わせ
ご質問や詳細については消防本部総務課庶務係までお問い合わせください。
TEL83-0236 E-mail:syobou-soumu@city.ojiya.niigata.jp
—地域を守るため消防団OBの皆様の力を是非お貸しください！—

編集後記



不定期ではありますが、何とか私の担当する今号をお届けすることが出来て安堵しています。
先日以前の仕事仲間から頼まれて「第2回おちや棚田米コンテスト」のお手伝いを本町の「ホント力」でやってきました。予選審査を通過した市内でも選りすぐりの棚田米がトップの市長賞を目指して、特別審査員と一般審査員が食味や見た目を付度なく評価します。
本文にもあるように、予選を通過したのは9割以上が南部地域から。皆さん苦労して耕作しているお米にはやはり裏付けがあるのですね。残念ながら外之沢の米は本選に進めませんでした。が、主催の仲間に聞いたところ、ギリギリで外れてしまったとのことでした。
さて、今年も残り僅かとなりました。どうか年末年始ご自愛いただき、良いお年をお迎えください。
(石曾根)